

研修講師の紹介(R4.3現在)

研修番号	講師名	所属	職名
1,3	胤森 裕暢	広島経済大学教養教育部	教授
5,6,7,8	梶矢 文昭	ヒロシマを語り継ぐ教師の会	事務局長
	樋口 啓子		臨床心理士
	山野 秀子	日本話しこば協会	理事長
9	佛園 弘修	広島都市学園大学子ども教育学部	教授
11	金山 健一	神戸親和女子大学発達教育学部	教授
12,13,14	曾余田 浩史	広島大学大学院人間社会科学部	教授
	佐藤 敬子	別府大学	客員教授
	峯本 耕治	長野総合法律事務所	弁護士
16	津金 美智子	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部	教授
19	嶋崎 政男	神田外語大学	客員教授
	藤崎 育子	開善塾教育相談研究所	所長
	松久 眞実	桃山学院教育大学人間教育学部	教授
19,20	河内 祥子	福岡教育大学教育学部	教授
21,22	嶋崎 政男	神田外語大学	客員教授
	内野 悌司	広島修道大学健康科学部	教授
24	阪根 健二	鳴門教育大学大学院学校教育研究科	特命教授
	元兼 正浩	九州大学大学院人間環境学研究院	教授
25	浅野 良一	兵庫教育大学大学院学校教育研究科	特任教授
26	三島 豊	三島食品株式会社	代表取締役会長
27	高木 展郎	横浜国立大学	名誉教授
	宇於崎 裕美	エンカツ社	代表取締役社長
	元兼 正浩	九州大学大学院人間環境学研究院	教授
28	高妻 紳二郎	福岡大学人文学部	教授
29	木村 泰子	元大阪府大阪市立大空小学校校長	
30	佐藤 敬子	別府大学	客員教授
31	平 理英子	広島市こども療育センター	医師
32	坂井 聡	香川大学教育学部	教授
	河村 千夏	広島都市学園大学言語聴覚専攻科	助教 言語聴覚士
	廣島 慎一	独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター	総括研究員
33	久保山 茂樹	独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター	上席総括研究員 (兼)センター長
	七木田 方美	比治山大学短期大学部幼児教育科	教授
	後野 文雄		特別支援教育士 スーパーバイザー
	松久 眞実	桃山学院教育大学人間教育学部	教授
	江田 良市		前独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 総括研究員
	松田 文雄	医療法人翠星会松田病院	院長
	南雲 昭彦	明達館高等学校	共有コーディネーター

研修番号	講師名	所属	職名
34	七木田 方美	比治山大学短期大学部幼児教育科	教授
	後野 文雄		特別支援教育士 スーパーバイザー
	佐藤 暁	岡山大学大学院教育学研究科	教授
	松田 文雄	医療法人翠星会松田病院	院長
35,36	高橋 純	東京学芸大学教育学部	准教授
38	赤松 利恵	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系	教授
39	長谷川 裕恵	静岡県富士宮市立北山中学校	栄養教諭
40	松枝 睦美	岡山大学大学院教育学研究科	教授
41	森本 晋也	文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室	安全教育調査官
	高橋 純	東京学芸大学教育学部	准教授
42	魚谷 滋己	県立広島大学	特任教授
43	高木 展郎	横浜国立大学	名誉教授
	北神 正行	国士舘大学体育学部	教授
	竹内 伸一	名古屋商科大学ビジネススクール	教授
	中井 克洋	弁護士法人広島メープル法律事務所	代表社員弁護士
	志々田 まなみ	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部	総括研究官
	林 孝	広島大学 広島大学大学院人間社会科学部	名誉教授 客員教授
	高妻 紳二郎	福岡大学人文学部	教授
45	胤森 裕暢	広島経済大学教養教育部	教授
	木下 博義	広島大学大学院人間社会科学部	准教授
46	井上 賞子	島根県安来市立荒島小学校	教諭
47	坂井 聡	香川大学教育学部	教授
	河村 千夏	広島都市学園大学言語聴覚専攻科	助教 言語聴覚士
49	眞野 豊	鳴門教育大学大学院学校教育研究科	准教授
50	小原 友行	福山大学人間化学部	教授
51	坂井 聡	香川大学教育学部	教授
52	藤崎 育子	開善塾教育相談研究所	所長
53	松久 眞実	桃山学院教育大学人間教育学部	教授
54	佐谷 力	常盤会学園大学国際こども教育学部	教授
55	田村 学	國學院大学人間開発学部	教授
59	調整中	調整中	調整中
60	草原 和博	広島大学大学院人間社会科学部	教授
61	石井 英真	京都大学大学院教育学研究科	准教授
62	柿岡 玲子	安田女子短期大学保育科	教授
63	阿部 玲子	日本幼児体育学会	専門指導員
65	船橋 篤彦	広島大学大学院人間社会科学部	講師
66	佐藤 和紀	信州大学学術研究院教育学系	助教
68	松本 直子	株式会社メディカルフィットネスB-1	健康運動指導士

緊急時の研修実施について

原則

- 研修開始2時間前の警報等の発表状況で研修の実施を判断します。
- 園児・児童・生徒の安全対応を優先してください。
- 園児・児童・生徒の安全が十分に確保でき、園・学校運営上支障がない場合は、研修を実施することもあります。

警報等が発表された場合

前日

■研修実施日の前日に、電子メールにて、全園・学校に、対応の詳細について連絡します。

午前からの研修

■7時の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期

午後からの研修

- 13時開始の研修
 - ・11時の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期
- 14時30分開始の研修
 - ・正午の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期
- その他の時刻に開始する研修
 - ・研修開始予定の2時間前の時点で警報等が1つ以上発表 → 延期